

2025年6月22日 主日礼拝

司 会 ①大枝兄 ②蔵本兄 ③中村洋兄(佐々木姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌576番「聖霊きたれり」
(イエス様私にいつでも笑顔を)(主がここにおられます)

使徒信条

聖 書 ①② 創世記15章1～6節 (P16)
③ ハガイ書2章4～9節 (P1308)

音 楽 ① 北島美佐子姉(ピアノ:扇谷美和姉)
②③ サラ・ナオミ会(V)

メッセージ ①② 「見上げてごらん夜の星を」 小林詩音副牧師
③ 「神の臨在と神への畏れの回復」大川従道主任牧師

賛 美 「大波のように神の愛が」 献金
頌 栄 「主の祈り」 アーメン
祝 禱

「主の家の後の栄光は、前の栄光よりも大きいと、万軍の主は言われる。わたしはこの所に繁栄を与えると、万軍の主は言われる。」
(ハガイ2の9)

【大和ニュース】

☆先日の『癒しの奇跡と聖霊充滿』Harvest Japan 2025 は、大いなる祝福でした。

愛兄姉の祈りと応援を心から感謝します。栄光は主のもの！

- ・ 本日、送迎駐車場奉仕会(13:00 泉3階)、青年会、学生会、ヤンチャ集合されよ！
SS教師会(12:45 森地下)、プレミアムクワイア(12:45 泉会堂) * CBS(14:00 石黒先生)
* 第4礼拝(18:00)の説教は58才の大川牧師「求め、捜せ、たたけ」

- * 今年も半年守られたことを感謝し「上半期感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。
- ・ 今週も祈禱会は燃えています。説教は竹内宣教師。☆聖餐式あり。☆ドルカス会(木曜)
- ・ 土曜日は花いっぱい。アブラハム会駐車場清掃(9:00)、会堂掃除、聖歌隊(13:30)
- * 主日礼拝人数①73人(241) ②209人(175) ③294人(261) =1253人
定例祈禱会 水曜66人(153) 木曜115人(59)=393人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

たまには上品に！（牧師だって、やればできる！少々無理だけど!?)

宮沢賢治とトシとは、2歳違いの兄妹だった。トシは24歳で夭折した。^{ようせつ}
賢治は詩集「春と修羅」に収めた「永訣の朝」で、そのときのことを記している。
蒼鉛色の暗い雲から、みぞれが冷たく降る日だった。どうしようもない悲しさに、
深く包まれた詩である。

（あめゆじゅとてちてけんじゃ）。びちょびちょと沈むような雨雲を、病床の
トシはとってきてほしいと頼む。賢治はささ愛おし気に、彼女のその方言を
詩集で4度、繰り返す。

松の枝から雪をもらい、トシは言った。（Ora Orade Shitori egumo）。
私は私で、一人でゆくね。詩の中で、ここだけが英字で表記されている。
やさしい兄は妹が不憫でたまらなくて、ひらがなで書くのが忍びなかった
のだろうか。ぬれ雪、ぼた雪、しめり雪……。この国にはたつぷりと水分を
含んだ雪の表し方がいくつもある。雨まじりの重い雪は、北極の人々をときに
閉じ込め、苦しめるけれど、やがて春水となり、大地を豊かに潤す。

牧師職を62年も務めていても、世界中からいただく難文には答えきれず
苦しむ。毎日苦しみながら何回も読む。ベテランの牧師でもただ涙す。しかし
ながら、「苦しむ者よ、悲しむ者よ、我に來たれ！我汝らを安ません！」がある。

歴史上一番苦しんだ人はだれだろう。「ヨブ」だろうか。否、もっとひどい体験者
もいたであろう。ハッキリ言えば、罪の全くないイエス様が、全人類の罪を
すべて引き受けて下さった、という聖書の語る世界は、信じられないほどの
奇跡物語である。牧師はいつも、そこに駆け込む。イエス様はいつも底点に
お立ちくださり、すべての罪人を、すべての難文をお受け下さる。謙遜に平伏し、
主なるイエス様を信じ、受け入れるなら、全き答えをいただける。アーメン!!
祈りつつ聖書を読むと、聖なる答がバシバシ届けられる。God Bless You!!

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:使徒行伝5章～8章 Bコース:エステル記4章～ヨブ記15章